

第75回分析化学討論会 研究発表プログラム

- この講演プログラム4月10日現在のものです。
- 座長は交渉中を含みます。
- 口頭発表の講演時間は、主題講演20分（講演15分，討論5分），一般講演15分（講演12分，討論3分），テクノレビュー講演30分（講演25分，討論5分）です。
- ポスター発表の発表時間は以下ようになります。
午前（若手）掲示可能時間
9:30～12:00 コアタイム10:00～11:30（90分）
午後（一般）掲示可能時間
13:00～15:30 コアタイム13:30～15:00（90分）
- 講演の発表者（登壇者）に○印を付けています。
- 口頭発表のPC設定時間は10分です。
- 討論主題講演（依頼講演を含む）の末尾には「*」を，セッションサイエンス講演の末尾には「S」を，テクノレビュー講演の末尾には「T」を付けています。
ポスター発表の場合には，一般講演ポスター発表（テクノレビュー講演を含む）は「P」，若手講演ポスター発表は「Y」と明記しています。
なお，分析化学誌「年間特集 金」のポスター講演には末尾に「B」を付けています。
- G会場の「公開シンポジウム」は別項を参照ください。
- 本講演プログラムは講演申込者がオンライン登録したデータをそのまま掲載していますが，所属略称等は修正している場合があります。
- 会場の都合等で講演プログラムを変更する場合があります。
- その他，詳細は別項を参照ください。

【 A 会 場 】

第1日（5月23日）

座長 安井明美

A1001*（9:15～9:35）高知県産生姜の品種評価に関する分析化学的研究（坂田信夫商店¹・牧野植物園²・高知大教育³）
○守川耕平^{1,3}・田中伸幸²・西脇芳典³・蒲生啓司³

【依頼講演】A1002*（9:35～10:05）食用植物油脂の日本農林規格におけるけん化価の共同試験について（農林水産消費安全技術セ）○稗島佑介・児玉貴志

【依頼講演】A1003*（10:05～10:35）ワインポリフェノールの抽出と熟成における分析化学（山梨大ワイン研）○奥田 徹

[PC設定時間]

座長 鈴木彌生子

A1004*（10:45～11:05）放射性核種自動分離測定装置の開発（柴崎製作所¹・日本分析セ²）○松江登久¹・藤森 憲¹・常井博人¹・守屋孝樹¹・増野幹治¹・三宅篤志¹・森本隆夫²・伴場滋²・瀬戸博文²・児玉理恵²

A1005*（11:05～11:25）DESI-MSによるスナック菓子の差異解析（産総研¹・エル・エム・エス²）○津越敬寿¹・川畑愛美²・上原 悟²・山崎伸彦²

A1006*（11:25～11:45）フラグメントレス質量分析法によるスナック菓子の差異解析（産総研¹・神戸工業試験場²）加藤友紀子²・三島有二²・○津越敬寿¹

座長 板宮裕実

A1007*（13:10～13:30）放射能分析用魚類認証標準物質の開発（都市大¹・武蔵大²・国際問題研³・産総研⁴・日本ハム⁵・環境テクノス⁶・JAB⁷・テルム⁸・埼玉大院⁹・JCAC¹⁰・JRIA¹¹・北科大¹²・KANSOテクノス¹³・JSAC¹⁴）○平井昭司¹・葉袋佳孝²・岡田往子¹・米澤伸四郎³・三浦 勉⁴・荒川史博⁵・岩本 浩⁶・植松慶生⁷・岡田 章⁸・渋川雅美⁹・千葉光一⁴・前山健司¹⁰・山田崇裕¹¹・真田哲也¹²・太田秀和¹³・柿田和俊¹⁴・小島勇夫¹⁴

【依頼講演】A1008*（13:30～14:00）軽元素安定同位体比を用いた食品の原料・原産地判別の可能性と留意点（農研機構食総研）○鈴木彌生子

【依頼講演】A1009*（14:00～14:30）分析の信頼性をどう確保するか—食品中元素分析を例に—（産総研）○宮下振一

[PC設定時間]

座長 菅原一晴

A1010*（14:40～15:00）電気化学的手法による食品および飲料類の抗酸化力測定法の開発（高知大理¹・高知大農²）○上田忠治¹・赤瀬早紀¹・田中由季乃¹・奥村卓史¹・島村智子²・受田浩之²

A1011（15:00～15:15）各種パルスシーケンズを用いる磁気緩和スペクトルによるイオン選択性電極膜の物性評価（阪工大工¹・兵庫県大院工²）○森内隆代¹・浦濱圭彬²

A1012（15:15～15:30）表面変調型ナノホールアレイセンサにおける光トラップ効果の解析（阪府大院理¹・阪府大院工²・阪府大ナノ科学・材料セ³）○吉川貴康¹・田村 守^{1,2}・Nguyen Duy, Vy¹・床波志保³・飯田琢也¹

A1013（15:30～15:45）3-アミノボロンジピロメテン誘導体を用いた変色型蛍光インジケータの開発（北大院地球環境）岸 和樹・○山田幸司

第2日（5月24日）

座長 藤浪真紀

A2001（9:15～9:30）放射光蛍光X線分析による和歌山カレーヒ素事件の頭髪分析の問題点（京大工）○河合 潤

A2002（9:30～9:45）イオン液体の軟X線吸収測定と分子軌道計算による会合構造の検討（兵庫県大院工）○村松康司・大内貴仁・森川 優・原田裕也・柿部剛史・岸 肇

A2003（9:45～10:00）実験室系装置による担持白金触媒前駆体熱分解過程のその場XAFS分析（徳島大総科¹・徳島大院総科教育²）○宮本一範²・近藤正哉¹・山本 孝²

A2004（10:00～10:15）シリカへのカドミウム（II）イオンの吸着とキャラクタリゼーション（福島大理工¹・九大基幹教育院²・九大院理³・日女大院理⁴）○大橋弘範^{1,2}・荒木理成³・安東宏晃³・田中和也³・宮崎あかね⁴・岡上吉広³・横山拓史³

[PC設定時間]

座長 辻 幸一

A2005（10:25～10:40）Zrを指標とした奥出雲地方の砂鉄とたたら製鉄の分析（佐賀大院工¹・佐賀大地文研²・佐賀大経³）○田端正明¹・高崎洋三²・相良英輔³

A2006（10:40～10:55）放射光マイクロビームを用いた自動車バンパー塗膜片の蛍光X線マッピング分析（高知大教育¹・JASRI/Spring⁸・広島大院工³）○西脇芳典^{1,2}・本多定男²・橋本 敬²・早川慎二郎^{2,3}・高田昌樹²

A2007 (10:55 ~ 11:10) 放射光蛍光X線分析による白色自動車擦過塗膜片の異同識別 (高知大院教育) ○石井健太郎・竹川知宏・西脇芳典・蒲生啓司

A2008 (11:10 ~ 11:25) X-ray fluorescence analysis with CCD camera (Nat'l Inst for Mater. Science¹・Univ of Tsukuba²) Wenyang Zhao^{1,2}・Kenji Sakurai^{1,2}

座長 山本 孝

A2009 (13:10 ~ 13:25) 全反射蛍光X線分析における試料作製位置と検出感度の依存性に関する研究 (阪市大院工) ○田淵由莉・辻 幸一

A2010 (13:25 ~ 13:40) 共焦点型三次元蛍光X線分析法による水溶液中塗膜鋼板の腐食挙動その場観察 (阪市大院工¹・新日鉄住金技術開発本部²) ○陳 自義¹・秋岡幸司²・荒井正浩²・土井教史²・辻 幸一¹

A2011 (13:40 ~ 13:55) 陽電子消滅法による水素脆化純鉄の空孔型欠陥挙動 (千葉大院工¹・産総研²・上智大理工³) ○藤浪真紀¹・小泉一輝¹・川口満梨奈¹・山脇正人²・伊藤賢志²・高井健一³

【 B 会 場 】

第1日 (5月23日)

座長 栗根 徹

B1001* (9:15 ~ 9:35) 製品開発を支える放射光分析 (住友重工) ○飯原順次

B1002* (9:35 ~ 9:55) X線吸収分光法による固体触媒材料の評価 (徳島大院総科教育) ○山本 孝

【依頼講演】 B1003* (9:55 ~ 10:25) X線分析とエネルギー・マテリアルのリサイクル (東京都市大工) ○江場宏美

[PC設定時間]

座長 花田一利

B1004* (10:35 ~ 10:55) 計測・分析技術高度化のための蛍光体材料開発 (福岡教大) ○原田雅章

B1005* (10:55 ~ 11:15) 二次イオン質量分析法による水素機器用金属材料中の水素の高感度検出法とその応用 (九大水素セ¹・福岡大工²) ○栗根 徹¹・松尾 尚²・松岡三郎¹

【依頼講演】 B1006* (11:15 ~ 11:45) 超伝導材料開発における分析評価技術 (物材機構) ○高野義彦

座長 江場宏美

【依頼講演】 B1007* (13:10 ~ 13:40) 鉄鋼分析技術および材料評価技術の現状と課題 (新日鉄住金) ○林 俊一

B1008* (13:40 ~ 14:00) 鉄鋼材料の高機能化を支える微量元素分析技術 (JFEスチールスチール研) ○花田一利・城代哲史

B1009* (14:00 ~ 14:20) 自動車排気ガス用触媒からの有用金属回収法 (山形大院理工¹・山形大工²・山形県自販店RC³) ○遠藤昌敏¹・根本美里²・小島 幸²・佐々木貴史²・木俣光正¹・富樫亜希³

[PC設定時間]

座長 遠藤昌敏

【依頼講演】 B1010* (14:30 ~ 15:00) 二次元ナノ材料の開発と分析 (京大・産官学) ○福田勝利

B1011* (15:00 ~ 15:20) MALDI-MS及び熱分解GC/MSを相補的に用いたエポキシ樹脂熱硬化反応過程の解析 (名工大) ○大谷 肇・山口香苗

B1012* (15:20 ~ 15:40) 異なる捕集液を用いる流動油面上真空蒸着法によって合成された銀ナノ粒子の分析 (和歌山大システム工) ○中原佳夫・家永隆史・木村恵一

B1013* (15:40 ~ 16:00) ポリイミド薄膜キュア過程のその場計測 (旭化成基盤技術研) ○松野信也

第2日 (5月24日)

座長 林 英男

B2001 (9:00 ~ 9:15) プラズマ分光分析用マルチファンクショングリッドネブライザーの設計開発 (産総研¹・東葉大²) ○稲垣和三¹・松下莉那²・藤井紳一郎¹・宮下振一¹・高津章子¹・千葉光一¹・梅村知也²

B2002 (9:15 ~ 9:30) 電気加熱気化-ICP発光分析法によるカーボンナノチューブ中の無機金属元素の直接定量 (広島大院理) ○神高孝幸・中田健一・岡本泰明・石坂昌司・藤原照文

B2003 (9:30 ~ 9:45) 水耕栽培で育てたトマトの葉に取り込まれたZnの化学形態別分析 (中大院理工) ○森美紗樹・中澤隆・古田直紀

B2004 (9:45 ~ 10:00) レーザー誘起プラズマ発光分析におけるレーザーアブレーション現象の直接観察 (東北大学) ○張 心月 [PC設定時間]

座長 梅村知也

B2005 (10:10 ~ 10:25) ICP-MSによる使用済燃料中ジルコニウム同位体の定量 (原子力機構) ○浅井志保・半澤有希子・今田未来・鈴木大輔・間柄正明・木村貴海

B2006 (10:25 ~ 10:40) MC-ICP-MSを用いたSIトレーサブルな鉛同位体標準液の開発 (産総研) ○野々瀬菜穂子・鈴木俊宏・石澤ゆかり・三浦 勉・日置昭治

B2007 (10:40 ~ 10:55) ICP-QMS/QMSによる硫黄の高感度分析 (産総研計量標準) ○朱 彦北・日置昭治・千葉光一

B2008 (10:55 ~ 11:10) Hot plasmaでの³⁹K分析におけるトリプル四重極ICP-MSの優位性 (アジレント¹・アジレントインターナショナル²) ○溝淵勝男¹・山田憲幸²・行成雅一¹

[PC設定時間]

座長 稲垣和三

B2009T (11:20 ~ 11:50) Agilent ICP-MSによる金属ナノ粒子測定ソリューションの紹介 (アジレント¹・アジレントインターナショナル²) ○行成雅一¹・鹿籠康行¹・山中理子²

座長 野々瀬菜穂子

B2010 (13:10 ~ 13:25) 多波長同時測定フレーム原子吸光分析法の高精度化を目的とした内標準スペクトル線の選択 (東北大金研) ○戸谷優介・我妻和明・板垣俊子

B2011 (13:25 ~ 13:40) 金属表面改質を目的とした中空陰極型酸素グロー放電プラズマの分光特性 (東北大金研) ○嶋崎光佑・佐藤こずえ・我妻和明

B2012 (13:40 ~ 13:55) ICP-MSによる微量成分分析における鉍酸系溶液のマトリックス効果 (三菱マテリアル) ○Mohanmad, Shabani・林部 豊

B2013 (13:55 ~ 14:10) ICP-MSによる微量成分分析における硫黄マトリックスの増感・減感効果 (三菱マテリアル) ○Mohanmad, Shabani・林部 豊

【 C 会 場 】

第1日 (5月23日)

座長 板橋英之

C1001* (9:15~9:35) 流れ分析システムによる環境化学分析の自動化(愛知工大) ○手嶋紀雄・Ayala, Alejandro・村上博哉・酒井忠雄

C1002* (9:35~9:55) コンピュータ制御間欠流れ/マルチチャンネルLED吸光検出法による多成分の同時、逐次及び順次測定 (Brawijaya Uni. Dept. Chem.¹・高知大・MGC JAPAN²・岡山大・岡山大インキュベータ³・岡山大院自然⁴・山梨大生命環境⁵・山梨大院医工⁶) Hakim, Lukman¹・樋口慶郎²・○本水昌二³・金田 隆⁴・鈴木保任⁵・川久保 進⁶

C1003* (9:55~10:15) 電気透析による溶存クロム種の化学形態別分析 (熊本大院自然) ○大平慎一・中村惟孝・戸田 敬

C1004* (10:15~10:35) 熱応答性高分子と蛍光色素とを用いるイオン性界面活性剤の蛍光光度定量 (宇都宮大院工) ○上原伸夫・森美香子

[PC設定時間]

座長 吉永 淳

[依頼講演] C1005* (10:45~11:15) 水銀同位体に認められる質量非依存性分別MIFと環境動態研究への応用 (国立環境研) ○柴田康行・武内章記・山川 茜

[依頼講演] C1006* (11:15~11:45) 国際GEOTRACES計画による全海洋の微量元素分布の解明 (東大気海洋研) ○蒲生俊敬

座長 角田欣一

[依頼講演] C1007* (13:10~13:40) 偏光を利用した大気中微粒子測定器の開発 (山梨大生命環境) ○小林 拓

[依頼講演] C1008* (13:40~14:10) 微小粒子状物質 (PM2.5) 汚染の現状と組成 (ACAP/CESS) ○坂本和彦

[PC設定時間]

座長 小林憲正

C1009* (14:20~14:40) PM2.5中揮発性化学物質のニアリアルタイム分析:ホルムアルデヒドの気相/粒子間の移動をみる (熊本大院自然¹・徳島大院薬²) ○戸田 敬¹・柚木 悟¹・彌永 輝¹・穂積成斗¹・竹内政樹²・大平慎一¹

C1010* (14:40~15:00) レーザー捕捉・顕微分光法のエアロゾル微粒子系への応用 (広島大院理) ○石坂昌司・片山慶一・肖 芳・大前温子・藤原照文

C1011* (15:00~15:20) 標高1400m四国の梶ヶ森山頂における冬期越境汚染物質 (徳島大院総合¹・リガク²・日立ハイテクノロジーズ³) 未見祐哉¹・山本祐平¹・児玉憲治²・上村 健³・○今井昭二¹

[PC設定時間]

座長 戸田 敬

C1012 [講演中止]

C1013 (15:45~16:00) 低温プラズマを用いた表面付着化学剤分析装置におけるプラズマガス種の影響 (科警研¹・東工大創エネ²) ○岩井貴弘¹・掛川 賢²・相田真里²・長島央行¹・名見耶友樹¹・金森美江子¹・宮原秀一²・瀬戸康雄¹・沖野晃俊²

C1014 (16:00~16:15) 検量線作成に使用可能な測定値の選択法 (愛知県警科捜研) ○奥山修司・三井利幸

C1015 (16:15~16:30) 重決定数値による定量可能範囲の決定 (数値解析研) ○三井利幸・奥山修司

第2日 (5月24日)

座長 竹内政樹

C2001 (9:00~9:15) ポルフィリン試薬を用いる淡水試料中のカドミウムの接触定量 (山梨大院医工¹・山梨県衛生環境研²) ○山本夏樹¹・佐々木裕也^{1,2}・鈴木保任¹・植田郁生¹・川久保進¹

C2002 (9:15~9:30) キレート洗浄を利用した鋳物廃砂中重金属の分離に対するメカノケミカル効果 (金沢大院自然¹・金沢大理工²・阪市大院工³) ○澤井 光¹・藤田真悠子²・地井直行¹・若林友弥¹・牧 輝弥²・水谷 聡³・長谷川 浩²

C2003 (9:30~9:45) 放射性セシウム、放射性ストロンチウムで汚染した海水浄化のための吸着材の開発 (近大理工¹・キミカ²・みらい³) ○山崎秀夫¹・内田 陽¹・笠原文善²・山口壽²・大村剛久²・小丸博美³

C2004 (9:45~10:00) 環境の放射性セシウム汚染の動態に対する共存有機物の影響と役割 (近大院理工¹・近大理工²・龍谷大理工³) ○石田真展¹・山崎秀夫¹・石井若奈²・本多健太郎²・松尾亮一³

C2005 (10:00~10:15) 超音波照射による汚染土壌からの放射性セシウムの除去 (いわき明星大科技¹・明星大院理工²) ○佐藤健二¹・杉本純一¹・佐々木秀明¹・原田久志²

[PC設定時間]

座長 田中美穂

C2006 (10:25~10:40) オオムギの抗酸化活性に及ぼす腐植酸の影響 (北大院工¹・電気化学工業²) Binhui Wang¹・牛島健介¹・西谷一樹¹・○福嶋正巳¹・一條利治²・稲場 徹²

C2007 (10:40~10:55) 日本海における残留性有機汚染物質の分布 (国立環境研¹・兵庫県環研セ²・都健康長寿医療セ研³) ○高澤嘉一¹・羽賀雄紀²・松村千里²・功刀正行³・荒巻能史¹

C2008 (10:55~11:10) カルボキシル基導入高分岐ポリマー及び活性炭を用いるヘキサメチレンテトラミンの除去 (愛媛大社会連携¹・徳島大院ソシオテクノ²・徳島大院先端技術科学³・阿南高専⁴) ○藪谷智規^{1,2}・西前真治³・磯部能史³・山田洋平⁴・高柳俊夫²・平野朋広²

C2009 (11:10~11:25) 大気エアロゾルに含まれる過塩素酸イオンの分析 (徳島大院医歯薬¹・徳島大薬²・徳島大院薬³) ○竹内政樹¹・成田三紀²・高野恵万子²・吉岡 薫³・田中秀治¹

C2010 (11:25~11:40) 新規強毒性Benzo[c]fluoreneの分析法改良と実都市大気試料への応用 (金沢大医薬保健研究域) ○森崎博志・唐 寧・鳥羽 陽・早川和一

座長 高柳俊夫

C2011 (13:10~13:25) LC/MSによる模擬星間物質への陽子線照射生成物中の核酸塩基の同定と定量 (横浜国大院工¹・東工大大院理工²・自然科学機構³) 時村隼人¹・金子竹男¹・癸生川陽子¹・福田一志²・小栗慶之²・○小林憲正^{1,3}

C2012 (13:25~13:40) 海水中のケイ酸化学種のトレーサーとしての有効性:福井県沖の表面海水について (東京海洋大院¹・理研²・福井県水産試験場³) ○田中美穂¹・高橋和也²・高垣 守³・鮎川航太³・宮田克士³・金田 充³

C2013 (13:40~13:55) LA-ICP-MSを用いたマンガン団塊の元素イメージング手法の改善と極微小領域における元素組成の考察 (東京海洋大院) ○平田純一・田中美穂

C2014 (13:55 ~ 14:10) イカの器官別金属濃度の定量とその濃縮機構の解明 (東京海洋大学院) ○原田葉乃・土屋光太郎・田中美穂

【 D 会 場 】

第1日 (5月23日)

座長 西澤精一

D1001 (9:30 ~ 9:45) ナトリウムイオンを識別するオリゴヌクレオチド配列 (九工大院工) 佐藤しのぶ・今市悠貴・○竹中繁織

D1002 (9:45 ~ 10:00) 一塩基突出したDNA二重らせん担持金ナノ粒子を用いる遺伝子目視診断 (理研前田バイオ工学) ○秋山好嗣・鹿川裕翔・金山直樹・宝田 徹・前田瑞夫

D1003 (10:00 ~ 10:15) 金ナノ粒子凝集を利用したタンパク質アミロイド凝集体の高感度検出 (理研前田バイオ工学) ○座古保・Tong Bu・前田瑞夫

D1004 (10:15 ~ 10:30) 自律駆動マイクロ流体チップを用いたmicroRNA検出における検出限界の塩基配列依存性 (理研¹・東大院基礎工²) ○長谷川和貴^{1,2}・細川和生¹・松本陸良²・前田瑞夫^{1,2}

[PC設定時間]

座長 座古 保

D1005 (10:40 ~ 10:55) RNA二重鎖の配列選択的蛍光検出を目指した三重鎖形成ペプチド核酸プローブの開発 (東大院理) ○佐藤貴哉・佐藤雄介・西澤精一

D1006 (10:55 ~ 11:10) 遺伝子選択的なメチルシトシンのイムノアッセイ法の開発 (産総研) ○栗田僚二・柳澤博幸・吉岡恭子・丹羽 修

D1007 (11:10 ~ 11:25) 細胞内1分子動態分析に基づくテロメアRNAの作動機構解析法 (東大院理) ○吉村英哲・山田俊理・瀬川尋貴・小澤岳昌

D1008 (11:25 ~ 11:40) 分子電気化学スイッチング素子を用いた細胞呼吸活性の電気化学イメージング (東大院環境¹・東北大WPI²) ○伊野浩介¹・山田祐大¹・菅野佑介¹・珠玖 仁¹・末永智一^{1,2}

座長 加藤 大

D1009 (13:10 ~ 13:25) ラマン分光法による高濃度タンパク質溶液の分子間相互作用の評価 (堀場¹・東大院工²・東大医科研³・東大創薬オープンイノベーションセ⁴) ○太田周志¹・野口慎太郎¹・津本浩平^{2,3,4}

D1010 (13:25 ~ 13:40) 帽子状貴金属ナノ粒子による表面増強効果 (1): 固相表面吸着分子検出用のSERS基板 (東洋大生命科学¹・東洋大バイオ・ナノ²・東洋大生命科学研究所³) ○竹井弘之^{1,2}・渡辺康介³

D1011 (13:40 ~ 13:55) パソフェナントロリンスルホン酸封入MCM-41を用いる血清鉄の目視分析法の構築 (日大院総合基礎¹・日大文理²) ○阪本美里¹・日澤啓太²・保坂 学²・菅原正雄^{1,2}

D1012 (13:55 ~ 14:10) 免疫反応場を組み込んだピペットチップ型自動腫瘍マーカーアッセイ法の開発 (神戸大院工¹・システム・インスツルメンツ²) ○高野恵里¹・志村宣明²・北山雄己哉¹・竹内俊文¹

[PC設定時間]

座長 中西 淳

D1013 (14:20 ~ 14:35) スパッタナノカーボン電極と亜鉛錯体プローブを用いたLPS計測 (産総研¹・JNC²) ○加藤 大¹・鈴木祥夫¹・吉岡恭子¹・小田 侑¹・鎌田智之¹・佐々木修治²・戸所正美²・丹羽 修¹

D1014 (14:35 ~ 14:50) 導電性高分子に固定化したバクテリアの分析 (阪府大院工) ○田村拓磨・陶国智史・西野智昭・椎木弘・長岡 勉

D1015 (14:50 ~ 15:05) 脂質二分子膜内におけるナイルブルーの蛍光増強を利用したプロテアーゼ定量法 (東薬大薬) ○飯室翔平・東海林敦・柳田顕郎・濫澤庸一

D1016 (15:05 ~ 15:20) 人工マイクロペルオキシダーゼ11の化学合成と酵素機能評価 (九大院工) 田邊潤壺・○中西幸二・石松亮一・今任稔彦

[PC設定時間]

座長 栗田僚二

D1017 (15:30 ~ 15:45) 光応答96ウェルプレートを用いる細胞移動アッセイ (物材機構¹・千葉大工²・神奈川大理³) 上村真生¹・菅原路子²・山口和夫³・○中西 淳¹

D1018 (15:45 ~ 16:00) バクテリアの場所選択的光集積の原理開拓 (阪府大院理¹・阪府大院工²・阪府大ナノ科学・材料研究セ³) ○山本靖之^{1,2}・清水恵美^{2,3}・西村勇姿^{1,2,3}・床波志保³・飯田琢也¹

D1019 (16:00 ~ 16:15) ヒト血清アルブミンに対するナフタレンスルホン酸類の結合挙動の比較検討 (九大院理) ○村重賢・竹原 公

D1020 (16:15 ~ 16:30) 品種識別キットを用いた市販流通米の品種判定 (科警研) ○板宮裕実・吉川ひとみ・杉田律子

第2日 (5月24日)

座長 橋本 剛

D2001 (9:00 ~ 9:15) 光誘起電子移動の制御を利用した蛍光センサーによるミセル表面付近のナトリウムイオン濃度測定 (東大院薬¹・クイーンズ大²) ○深津英子¹・内山聖一¹・Gareth D. McClean²・A. Prasanna De Silva²

D2002 (9:15 ~ 9:30) シアノピラニル基-ダンシル基間相互作用による蛍光“on-off”現象を利用した糖質の簡易的検出方法の開発 (産総研) ○鈴木祥夫・丹羽 修

D2003 (9:30 ~ 9:45) 高分子ゲル試薬を用いたCu(II)イオンの検出 (山口大院理工) 藤原 勇・○篠森裕章・村上良子

[PC設定時間]

座長 鈴木祥夫

D2004 (9:55 ~ 10:10) DESI-MSを用いた高濃度ケイ酸塩水溶液 (Siont B) 中のケイ酸塩の化学種分析と重金属イオン共沈剤としての利用の可能性について (千葉工大¹・日本素材工学研²・日大理工³) ○谷合哲行¹・露木尚光²・酒巻 弘³

D2005 (10:10 ~ 10:25) ジピコリルアミノ型アゾプローブ/デンドリマー複合体のリン酸類認識機能評価 (上智大理工) ○橋本剛・越野杏奈・藤原章司・土戸優志・早下隆士

D2006 (10:25 ~ 10:40) キャピラリー電気泳動法を用いる大腸菌に対するDNAアプタマー高速選抜技術の開発とその特性評価 (埼玉大院理工¹・東大院総合文化²) ○廣瀬和生¹・吉本敬太郎²・齋藤伸吾¹・洪川雅美¹

[PC設定時間]

座長 齋藤伸吾

D2007 (10:50 ~ 11:05) キャピラリー電気泳動を利用する分子間相互作用の速度解析法の開発 (立教大理) ○宮部寛志・島崎裕紀

D2008 (11:05 ~ 11:20) キャピラリー電気泳動法によるチモール-硫酸化-シクロデキストリン間の分子間相互作用の速度解析 (立教大院理) ○島崎裕紀・宮部寛志

D2009 (11:20 ~ 11:35) キャピラリーゾーン電気泳動法を用いたヘキサメチレンテトラミンの酸解離反応解析 (徳島大院先端技術科学¹・愛媛大社会連携²・徳島大院ソシオテク³) ○島上夏美¹・藪谷智規^{2,3}・高柳俊夫³

座長 鈴木保任

D2010 (13:10 ~ 13:25) Analysis of Poly (3-hydroxybutyrate) during solvent induced crystallization process and its images (関学大¹・神戸大²・東北大³・チューラーロンコーン大⁴・江原大学校⁵) ○曾 采薇¹・石川大太郎³・佐藤春実²・Kanet, Wograveen⁴・Jung, YoungMee⁵・尾崎幸洋¹

D2011 (13:25 ~ 13:40) 減衰全反射遠紫外分光法による、表面修飾したポリスチレンナノ粒子の分析 (近大理工) ○森澤勇介・越智高志

D2012 (13:40 ~ 13:55) 遠紫外CTTSバンドによるハロゲン塩水溶液の凍結・解凍過程の観察 (農研機構食総研¹・近大院総合理工²・近大理工³) ○池羽田晶文¹・西川由華²・森澤勇介³

[PC設定時間]

座長 池羽田晶文

D2013 (14:05 ~ 14:20) カルシウム結合タンパク質のカルシウム配位構造一同位体ラベルを用いた赤外分光法による分析 (東医歯大教養¹・産総研²・青山学院大理工³・東大院農⁴) ○奈良雅之¹・森井尚之²・坂本 章³・宮川拓也⁴・田之倉 優⁴

D2014 (14:20 ~ 14:35) 高速励起波長変調によるラマン散乱と蛍光の分離の試み (東大院理) 中村 昂・○島田林太郎・小澤岳昌

D2015 (14:35 ~ 14:50) ラマン分光法による硫酸-フッ化水素酸系電解研磨液の分析 (高エネ機構) ○文珠四郎秀昭・沢辺元明

D2016 (14:50 ~ 15:05) モリブドリン酸-マラカイトグリーン会合体のフィルター捕集と可搬型反射比色計を用いる天然水中リンの高感度定量法の開発 (山梨大院総合研究¹・山梨大教育人間科学²・岡山大院自然科学³) ○鈴木保任¹・山根 兵²・本水昌三³・川久保 進¹

【 E 会 場 】

第1日 (5月23日)

座長 三浦篤志

E1001 (9:30 ~ 9:45) 自然乳化を利用したマイクロ液滴内結晶化 (東工大院理工) ○福山真央・秋山 葵・火原彰秀

E1002 (9:45 ~ 10:00) 近赤外レーザー誘起表面変位顕微鏡の開発 (東理大理) ○森作俊紀・由井宏治

E1003 (10:00 ~ 10:15) 表面増強ラマン散乱分光法による金ナノ粒子表面に固定化された有機酸のp*K*_aの決定 (信州大院理工) ○中村聡志・金 継業

E1004 (10:15 ~ 10:30) 組織切片中に分布した金ナノロッドのイメージング質量分析 (鹿児島大院理工¹・九大院工²・I2CNER,JST³) ○新留康郎¹・藤井政徳²・向 大輝¹・井上雄貴¹・蔦本 陽¹・中嶋直敏^{2,3}

[PC設定時間]

座長 中谷清治

E1005 (10:40 ~ 10:55) 気相中の単一エアロゾル水滴におけるpH変化のレーザー捕捉・顕微分光分析 (北大理¹・北大院理²・北大院総化³) 堀 皓詞¹・○三浦篤志^{2,3}・喜多村 昇^{2,3}

E1006 (10:55 ~ 11:10) PAMAM dendrimer共存下の液液界面におけるフラビン化合物の吸着反応機構 (金沢大院自然) ○坂江広基・永谷広久・森田耕太郎・井村久則

E1007 (11:10 ~ 11:25) レーザー捕捉法を用いたポリ (*N*-イソプロピルアクリルアミド)/1-ブタノール/水混合系での微粒子形成過程の分光分析と物質抽出 (2) (北大院総合化学¹・北大院理²) ○野原 陸¹・三浦篤志^{1,2}・喜多村 昇^{1,2}

E1008 (11:25 ~ 11:40) 銀ナノプレートの組織状態が屈折率検出感度に及ぼす影響の評価 (九大院工¹・長崎大院工²) ○高橋幸奈¹・山口祐典¹・井手奈都子¹・田原弘宣²・石田拓也¹・山田 淳¹

座長 石坂昌司

E1009 (13:10 ~ 13:25) グルタチオンによるPAH-CdSナノ粒子の発光増幅 (和歌山高専) ○林純二郎・福島雅也・今北啓信

E1010 (13:25 ~ 13:40) メソ多孔質シリカゲル-水系の単一微粒子内外における拡散支配的溶質分子輸送の考察 (筑波大院数理解物質) ○佐藤辰巳・中谷清治

E1011 (13:40 ~ 13:55) 熱応答性高分子を複合化した近赤外蛍光性金ナノ粒子の創製 (宇都宮大院工) ○上原伸夫・沼波圭邦

E1012 (13:55 ~ 14:10) 固体表面におけるイオンの吸着におよぼす溶液電位勾配の影響 (京大院農¹・甲南大理工²・JST-CREST³) ○北隅優希^{1,3}・白井 理¹・山本雅博^{2,3}・加納健司^{1,3}

[PC設定時間]

座長 永谷広久

E1013 (14:20 ~ 14:35) 過冷却微小水滴の粘度の温度依存性に関する研究 (2) (広島大院理) ○石川朋己・石坂昌司・藤原照文

E1014 (14:35 ~ 14:50) トルエン/水界面におけるポルフィリン会合体生成に及ぼす陽イオン界面活性剤構造の影響 (茨城大理¹・茨城大院理工²) ○大橋 朗¹・長手勇樹²・金 幸夫¹

E1015 (14:50 ~ 15:05) シリカゲル上に生成するポルフィリン会合体によるキラル分子の検出 (阪大INSD¹・阪大IC²) ○渡會 仁¹・倉橋悠里子²

[PC設定時間]

座長 火原彰秀

E1016 (15:15 ~ 15:30) 油水界面での有機イオンの標準イオン移動電位の理論的予測 (神戸大院理¹・甲南大院理工²) ○大塚利行¹・内藤恭裕¹・枝 和男¹・山本雅博²

E1017 (15:30 ~ 15:45) 水・油・水三相系化学振動現象における受容相液性依存性 (千葉大院工¹・東大院総合文化²) ○伊香智史¹・後藤和馬¹・野本知理¹・豊田太郎²・藤浪真紀¹

E1018 (15:45 ~ 16:00) 油滴人工アメーバ運動における会合体挙動 (千葉大院工¹・東大院総合文化²) 上本頌子¹・野本知理¹・豊田太郎²・○藤浪真紀¹

第2日 (5月24日)

座長 安川智之

E2001 (9:00 ~ 9:15) 油水比率の変化する試料に対するマイクロ油水分離構造 (東工大院理工¹・東大院工²) ○火原彰秀¹・宮崎公平²

E2002 (9:15~9:30) モノリス型分離媒体の電気浸透流ポンプへの応用 (京大院工) ○内藤豊裕・國澤研大・久保拓也・大塚浩二

E2003 (9:30~9:45) 蛍光基質固定化ヒドロゲルを用いた高感度電気泳動イムノアッセイ法の開発 (阪府大院工) 宮本翔悟・○末吉健志・遠藤達郎・久本秀明

[PC設定時間]

座長 久本秀明

E2004 (9:55~10:10) 誘電泳動による迅速な細胞凝集塊の形成 (兵庫県大院物質理学¹・東大院総合文化²) ○安川智之¹・守島麻¹・吉本敬太郎²・水谷文雄¹

E2005 (10:10~10:25) 分子クラウディングを利用したマイクロビーズPadlock/RCA法の高感度化 (東洋大理工¹・日女大理²) 郡司良隆¹・佐藤香枝²・○佐々木直樹¹

E2006 (10:25~10:40) マイクロ流路によるフロースルー型クロマトグラフィー (N T T先端集積デバイス研¹・N T Tデバイスイノベーションセ²) ○岩崎 弦¹・松浦伸昭²・林 勝義¹・井上鈴代¹・瀬山倫子²・小泉 弘¹

[PC設定時間]

座長 白井 理

E2007 (10:50~11:05) 平面脂質二分子膜内での異なる素子連携による信号変換と増幅 (北見工大) 河島孝典・姚 文明・東山愛生・○宇都正幸

E2008 (11:05~11:20) 脂質二分子膜修飾電極の電気化学的挙動に対する疎水性薬剤の影響 (九大院理¹・筑波大数理²) ○甲斐めぐみ¹・山崎信哉²・竹原 公¹

E2009 (11:20~11:35) ホウ酸とカテコール類縁体の錯生成反応に関する電気化学的検討 (九大院理¹・福岡教大²・都城高専³) ○真瀬田幹生¹・宮崎義信²・藤森崇夫³・竹原 公¹・吉村和久¹

E2010 (11:35~11:50) イオン移動ボルタンメトリーに基づく薬剤吸収の理論的評価 (神戸大院理) ○中村まゆみ・大堺利行
座長 上野祐子

E2011 (13:10~13:25) 層状オルガノマンガン酸化物フィルムを用いたシプロフロキサシンの回収とpH依存性 (山口大院理工) ○竹部秀輔・森 克将・中山雅晴

E2012 (13:25~13:40) ヨウ化物イオンの収着と電気化学的再生が可能なオルガノマンガン酸化物フィルムの作製 (山口大院理工) ○中川貴美子・佐藤あゆ・中山雅晴

E2013 (13:40~13:55) 1-ベンジル-1,4-ジヒドロニコチンアミドとフラビン補酵素を用いた光ガルバニ電池 (新居浜高専数理科¹・広島大工²) ○矢野 潤¹・木谷 皓²

[PC設定時間]

座長 大堺利行

E2014 (14:05~14:20) 液膜電位振動間の伝播と同期に及ぼす閉鎖性界面の特異性 (京工織大院工芸科学) 山口祐哉・吉田裕美・○前田耕治

E2015 (14:20~14:35) グラフェンアプタセンサ表面における分子吸着特性のQCM-Dによる評価 (NTT物性基礎研) ○上野祐子・古川一暁・高村真琴・日比野浩樹

E2016 (14:35~14:50) 疎水的C末端領域欠損変異体フルクトースデヒドロゲナーゼの直接電子移動反応 (京大院農) ○杉本 悠・河合翔太・北隅優希・白井 理・加納健司

E2017 (14:50~15:05) 疎水性イオンの膜透過特性における定量的構造活性相関 (京大院農) 宇佐美陸・○白井 理・北隅優希・加納健司

【 F 会 場 】

第1日 (5月23日)

座長 加賀谷重浩

F1001 (9:15~9:30) 固相抽出におけるODSへの含窒素化合物の保持機構 (名工大院工) ○大室智史・石崎 理・安井孝志・高田主岳・湯地昭夫

F1002 (9:30~9:45) MSP-8担持表面修飾吸着材を用いたSc³⁺の分離捕集 (金沢工大院工¹・第一稀元素化学工業²) ○藤永薫¹・仲井康之¹・中島 靖²・渡辺雄二郎¹・大嶋俊一¹・小松優¹

F1003T (9:45~10:15) シリカモノリス技術を導入した固相抽出製品の最新事例の紹介 (GLサイエンス) ○古庄義明・太田茂徳

[PC設定時間]

座長 梅村知也

[論文賞講演] F1004 (10:25~10:45) 同種金属二核錯体系を用いるイオン交換体比色法によるppbレベルの鉄(III)イオンの目視閾値判定 (山形大院理工¹・鶴岡高専²) ○水口仁志¹・篠田靖子¹・我妻孝佳¹・高田雅之¹・上條利夫^{1,2}・志田惇一¹

[PC設定時間]

座長 由井宏治

F1005 (10:55~11:10) レーザー誘起プラズマ発光分光分析法を利用した鉄鋼中のタンゲステンの迅速検出及び定量 (東北大金研) ○柏倉俊介・我妻和明

F1006 (11:10~11:25) アレルゲン性を有する香料成分のレーザーイオン化質量分析 (九大院工¹・九大芸工院²・Vietnam Academy of Science and Technology³・九大未来セ⁴) ○瀧田新平¹・森 兆史¹・下道 治¹・Vu, Duong³・貴田祐一郎¹・今坂智子²・今坂藤太郎^{1,4}

F1007 (11:25~11:40) Multiphoton Ionization of Parent Polycyclic Aromatic Hydrocarbons, Nitrated Polycyclic Aromatic Hydrocarbons and Amino-Polycyclic Aromatic Hydrocarbons (九大院工¹・九大芸工院²・福岡県保環研³・九大未来セ⁴) ○Tang, Yuanyuan¹・Imasaka, Tomoko²・Yamamoto, Shigekazu³・Imasaka, Totaro^{1,4}

座長 柏倉俊介

F1008 (13:10~13:25) 空間光変調器を用いる光学素子のリアルタイム形成-レーザーの輻射圧による微粒子の制御と粒径分離- (九大院工¹・九大未来セ²) 門司壮史¹・○今坂藤太郎^{1,2}

F1009 (13:25~13:40) Multi-parametric analysis of single molecule diffusion and conformational dynamics (KAUST) MagedFSerag・MaramAbadi・○羽淵聡史

F1010 (13:40~13:55) 誘導ラマン光音響トモグラフィーの開発と散乱体に埋もれた試料の化学種識別的計測 (東理大理) ○伴野元洋・長島亜美・由井宏治

[PC設定時間]

座長 北川慎也

F1011 (14:05~14:20) 表面気泡変調液体クロマトグラフィーによる疎水性表面における水の分離機能の解析 (埼玉大院理工) ○中村圭介・齋藤伸吾・渋川雅美

F1012 (14:20～14:35) 精密に分子量を制御した機能性高分子による温度応答性クロマトグラフィーの開発(慶大薬) ○蛭田勇樹・南雲悠平・金澤秀子

F1013 (14:35～14:50) 化学発光を利用したHPLCポストカラム法によるFe(III)キレーター分析法の開発と応用(東大院農) ○有賀智子・井村祐己・鈴木道生・吉村悦郎

[PC設定時間]

座長 中村 洋

[SS講演] F1014S (15:00～15:40) ピークキャパシティーを用いるカラム効率評価法の開発(信和化工) ○小林宏資

[PC設定時間]

座長 渋川雅美

F1015T (15:50～16:20) 新製品 Agilent 1290 Infinity II LCシステムと、検出感度が10倍、ダイナミックレンジが約9倍向上したELSDの次世代UHPLC!の全貌(アジレントテクノロジー) ○見勢牧男・内藤厚子・熊谷浩樹

F1016 (16:20～16:35) 並列処理に基づく高効率な液体クロマトグラフィー—質量分析法の開発(名工大院工) ○北川慎也・熊崎高士・大谷 肇

F1017 (16:35～16:50) 2-エチルヘキサン酸の個人ばく露濃度測定方法の開発(日立ハイテクサイエンス) ○蛭田多美・清水克敏・白崎俊浩

第2日(5月24日)

座長 山本 敦

F2001 (9:00～9:15) ICによる海水中の無機態窒素の分離・検出の検討(近大工) ○伊藤一明・朝田悠太・飯尾一平・堀岡祐太・谷本紘一・林 宜明・佐々木翔平・藤井沢斗

F2002 (9:15～9:30) 逆相陽イオン交換クロマトグラフィーによるアンジオテンシンとサルタン系降圧剤の同時分離定量(横国大院環境情報¹・三菱化学²) ○横山幸男¹・北出哲史¹・杉本隆一²・志村明弘²

[PC設定時間]

座長 伊藤一明

[SS講演] F2003S (9:30～10:10) 静電相互作用を活用する分離剤・前処理剤の開発(中部大応用生物) ○井上嘉則

[PC設定時間]

座長 羽田三奈子

F2004 (10:20～10:35) 反応熱分解ガスクロマトグラフィーによる細菌細胞中の脂肪酸分析における信頼性の評価(中部大応生) ○石田康行・太田彩恵・シティバイデューラー

F2005 (10:35～10:50) 包括的二次元GCによる軽油重油の全成分分析の試み(自動車研) ○秋山賢一・小野村恵子

[SS講演] F2006S (10:50～11:30) ワイン醸造における香気成分のコントロール(メルシャン シャトー・メルシャン製造部製造課) ○小林弘憲

座長 今任稔彦

[SS講演] F2007S (13:10～13:50) 固相抽出を利用した前処理の科学～検出器の観点から～(ジエールサイエンス) ○古庄義明

[PC設定時間]

座長 谷合哲行

F2008 (14:00～14:15) 遠心力駆動による流れを利用した電気化学的および光学的分析法の開発(九大院工) 田上裕典・石松亮一・中野幸二・○今任稔彦

F2009 (14:15～14:30) カーボンナノドットを用いた電気化学発光イムノアッセイ(九大院工) ○石松亮一・郭 帥・中野幸二・今任稔彦

F2010 (14:30～14:45) タンパク質インプリント型ヒドロゲルの開発(京大院工) ○久保拓也・有村俊亮・内藤豊裕・大塚浩二

F2011 (14:45～15:00) 5-Br-PSAAを用いるパラジウムの同時注入迅速混合フロー分析(愛知工大) ○Ayala, Alejandro・野口大介・村上博哉・手嶋紀雄・酒井忠雄

【 P 会 場 】

第1日(5月23日)

P1001 (13:30～15:00) ICP-MS/MSによるMoマトリクス中の微量Cd測定(東レリサーチセ) ○藤崎一幸・白瀧絢子・坂口晃一・佐藤信之

P1002 (13:30～15:00) ICP-MS/MSによるCaマトリクス中の微量As,Se測定(東レリサーチセ) ○白瀧絢子・藤崎一幸・坂口晃一・佐藤信之

P1003 (13:30～15:00) 教育現場での活用を目指した、レーザーを光源とする簡易な光路長可変型比色計の開発(上越教育大) ○下村博志・荒川昌一郎・小林玄太

P1004 (13:30～15:00) 近赤外イメージング装置による組成分布の定量化(住友電工) ○南條卓也

P1005 (13:30～15:00) 廃プラスチックリサイクルで黒色プラスチックを識別するためのラマン分光装置の開発(近大産業理工¹・サイム²) ○河津博文¹・土田哲大²・吉田智弥²・土田保雄²

P1006 (13:30～15:00) 尾張藩上屋敷跡遺跡出土試料の成分分析—砥石・碁石・ガラス試料—(神奈川大理) ○青柳佑希・高岡真美・西本右子

P1007 (13:30～15:00) 大気中光電子収量分光による液体試料の電子状態測定(理研計器) ○山下大輔・石崎温史

P1008 (13:30～15:00) 試料冷却を用いたSiO₂およびAl₂O₃酸化薄膜のオージェスペクトル測定の基礎的検討(物材機構) ○荻原俊弥・吉川英樹・田沼繁夫

P1009 (13:30～15:00) ニュースパルBL10における軽元素薄膜材料の軟X線吸収・反射率分析(兵庫県大院工¹・兵庫県大高度研²) ○村松康司¹・植村智之¹・南部啓太¹・福山大輝¹・原田哲男²・木下博雄²

P1010 (13:30～15:00) ポリスチレン/グラファイト複合電極を用いた微量クロム(VI)のストリッピングボルタンメトリー(信州大院総合工¹・アンダラス大²) ○Trisna KumalaSari¹・金 継業¹・Rahmiana Zein²・Edison Munaf²

P1011T (13:30～15:00) 食品の風味変化分析手法の開発(LECO ジャパン) ○西村泰央・樺島文恵

P1012 (13:30～15:00) 簡易型ガスクロマトグラフとクローズドシステム反応系を用いた理科教育現場における有機化学反応実験の提案(ガステック) ○中丸宜志・加山慎一郎・中村正信

P1013 (13:30～15:00) パーキンソン病疾患の皮膚ガスGC/MS測定からの重度の推定(II)(ピコデバイス¹・名大医²・東大薬³) ○津田孝雄¹・平山正昭²・大野欽司²・角田 誠³

P1014 (13:30～15:00) 薄層クロマトグラフィーとデジタルカメラを用いた環境水中のクロロフィル濃度の定量(東邦大理) ○西垣敦子・後藤美奈子・齋藤信広

- P1015 (13:30 ~ 15:00) 薄層クロマトグラフを用いた樹脂中のフタル酸エステル簡易分析法の検討 (JVCケンウッド) ○望月恵子・寺井正行・加野昌幸
- P1016 (13:30 ~ 15:00) 衛星運動型高速向流クロマトグラフ装置による汎用多層コイルの糖誘導体分離効率の検討 (日大薬¹・日大理工²・米国NIH³) ○四宮一総¹・木村映未瑠¹・高井美登里¹・張替直輝¹・吉田和範²・戸倉幸治²・柳平和寛²・伊東洋一郎³
- P1017 (13:30 ~ 15:00) 表面増強ラマン散乱を用いた振動分光検出器の開発 (1) (右近工舎¹・滋賀県大工²・香川大工³・産総研⁴) ○右近寿一郎¹・Balachandran Jeyadevan²・John Cuya²・山本裕子³・伊藤民武⁴
- P1018 (13:30 ~ 15:00) コンピュータ制御全自動固相抽出濃縮ボルタンメトリーによる重金属イオンの高感度測定 (Dept. Chem.BrawijayaUniversity¹・高知大・MGCJAPAN²・岡山大・岡山大インキュベータ³・岡山大院自然⁴) Lukman, Hakim¹・樋口慶郎²・○本水昌二³・金田 隆⁴
- P1019 (13:30 ~ 15:00) PFAチューブによる簡易送液システムの開発 (サトダサイエンス) ○里田 誠
- P1020 (13:30 ~ 15:00) アジピン酸の個人ばく露濃度測定・分析方法の検討 (日立ハイテクサイエンス) ○蛭田多美・清水克敏・白崎俊浩
- P1021T (13:30 ~ 15:00) イオンクロマトグラフィーに最適化した超純水装置 (エルガ・ラボウォーター) ○黒木祥文
- P1022 (13:30 ~ 15:00) 衣料用洗剤の迅速分析法 (第2報) — CEによる無機イオンの連続自動分析— (ライオン) ○川崎静香・市場有子・岩崎英明
- P1023 (13:30 ~ 15:00) バイオミメティックな手法によるマイクロチップ表面の改質および分離への応用 (阪大院基礎工¹・北大院工²・名大院工³) ○岡本行広¹・渡慶次学²・馬場嘉信³
- P1024 (13:30 ~ 15:00) 山口県における大気中粒子状物質の越境汚染寄与の推定 (山口東理大) ○浅野 比・長谷川貴司・白石幸英
- P1025 (13:30 ~ 15:00) 小惑星の水質変成過程における有機物の形成 (横国大¹・CIW²・北大³) ○癸生川陽子¹・George Cody²・岡 征子³・徳光 藍³・橘 省吾³・石川優人¹・金子竹男¹・小林憲正¹
- P1026T (13:30 ~ 15:00) 微量放射能計測のための水試料自動蒸発濃縮システムの開発 (柴崎製作所¹・日本分析セ²・福島県原子力セ³・都立産業技術研究セ⁴) ○松江登久¹・吉田秀美¹・飯出 純¹・常井博人¹・守屋孝樹¹・新井秀樹¹・森本隆夫²・伴場 滋²・瀬戸博文²・児玉理恵²・紺野慎行³・斎藤正明⁴
- P1027 (13:30 ~ 15:00) GPS歩行型サーベイメータを用いた空間放射線量率の測定 (日大工) ○平山和雄・菅野大和・森谷瑞生
- P1028 (13:30 ~ 15:00) 川崎市における環境試料中の放射性核種濃度の観測—大気・土壌・河川水・底質の分析— (明大理工¹・明大院理工²・明大研究・知財戦略機構³) ○小池裕也¹・越智康太郎²・青林 諒²・松田 渉²・岩鼻雄基²・乾 哲朗³・中村利廣¹
- P1029 (13:30 ~ 15:00) 広島県水道水の水質解析評価 (徳島文理大理工¹・日本水科研²) ○谷川浩司¹・吉田知司¹・池田早苗²
- P1030 (13:30 ~ 15:00) 広島県名水の水質分析とその特性 (徳島文理大理工¹・日本水科研²) ○吉田知司¹・谷川浩司¹・池田早苗²
- P1031 (13:30 ~ 15:00) キラルPCBメチルスルホキシド (PCB-SOMe): ヒトCYP (P450) 分子種との反応による未変化体、S-酸化体であるPCBメチルスルホン (PCB-SO₂Me) 及び水酸化PCBメチルスルホン (OH-PCB-SO₂Me) のキラル分析 (第一薬大) 黒木広明・福永拓洋・井上亜紀・○徳田成久・平川寛之・市川 祥・加藤 尚・黒岩 諭・島 貴寛・戸田品久
- P1032 (13:30 ~ 15:00) 貝殻粉末を躯体とした新規吸着剤によるヒ素の吸着特性 (麻布大生命環境¹・エコマテリアルズ²・YoshikawaSci.Lab.³) 芳賀 亮¹・○稲葉一穂¹・竹本俊春²・吉川裕泰³
- P1033 (13:30 ~ 15:00) 沿岸海域における鉄のスペシエーション組成に及ぼす腐植物質散布の影響 (金沢大理工¹・金沢大院自然²・新日鉄住金先端技研³) ○長谷川 浩¹・荻野 匡²・岡田未央²・牧 輝弥¹・三木 理¹・小杉知佳³・加藤敏朗³
- P1034 (13:30 ~ 15:00) 水産加工スラッジの堆肥化に及ぼす製鋼スラッグの影響: 腐植成分の分析 (北大院工) Xuefei Tu・Aneksampant Apichaya・Qianqian Zhu・○福嶋正巳
- P1035 (13:30 ~ 15:00) ポルフィリン試薬を用いる環境水中のカドミウムの現場分析とその実用化 (山梨県衛生環境研¹・山梨大院医工²) ○佐々木裕也^{1,2}・山本夏樹²・鈴木保任²・植田郁生²・川久保 進²
- P1036 (13:30 ~ 15:00) 小規模金採掘活動によって排出される大気中水銀濃度の経時変化と化学形態別分析 (鹿児島大廃液処理セ¹・RCB-LIP²・鹿児島大院理工³) ○河野百合子¹・Joeni S. Rahajoe²・Nuril Hidayati²・富安卓滋^{1,3}
- P1037 (13:30 ~ 15:00) LC/MSを用いたシラカバ中フラボノイドの分析と小腸上皮細胞への透過性の検討 (道薬大) ○三原義広・辻 雄介・大嶋啓司・伊藤慎二
- P1038 (13:30 ~ 15:00) Short-stripろ紙電気泳動法による食品中ヒスタミンの選択的検出および定量 (愛知学泉大家政¹・中京大工²) ○小栗重行¹・加藤希実¹・杉山裕子¹・中 貴俊²・宮崎慎也²

第2日 (5月24日)

- P2001 (13:30 ~ 15:00) アルミニウム薄膜を用いた遠紫外表面プラズモン共鳴センサーの開発 (関学大理工¹・静岡大院工²・JST-CREST³) ○後藤剛喜¹・領木貴之¹・田中嘉人¹・田邊一郎¹・黄川田昌和²・居波 渉^{2,3}・川田善正^{2,3}・尾崎幸洋¹
- P2002 (13:30 ~ 15:00) コーヒーの酸度測定用センサーの開発 (東薬大薬) ○小谷 明・小島妃南子・板垣摩利・楠 文代・袴田秀樹
- P2003 (13:30 ~ 15:00) 六座配位子—単核金属錯体のイオノフォアとしての実用性 (阪工大工¹・龍谷大理工²) ○渋谷康彦¹・藤原 学²・藤森啓一¹・森内隆代¹
- P2004 (13:30 ~ 15:00) 酵素法を用いるアミノ酸分析における金属イオン効果の検討 (広島市大社連セ) ○釘宮章光・深田理恵・天野頌子
- P2005 (13:30 ~ 15:00) フラグメントレスイオン化質量分析法による樹脂材料中ポリマーワックス成分の直接評価手法の検討 (神戸工業試験場¹・産総研²) ○三島有二¹・加藤友紀子¹・津越敬寿²

- P2006 (13:30 ~ 15:00) MALDI-TOF-MSを用いた有機エレクトロクロミック化合物の光劣化解析 (リコー技研) ○増田悦昌・井上満美子・匂坂俊也・平野成伸・渋谷 毅
- P2007 (13:30 ~ 15:00) 硬表面洗浄時の界面活性剤複合体形成によるヌルつき抑制効果の解析 (ライオン) ○市場有子・市橋孝介・岩崎英明
- P2008 (13:30 ~ 15:00) スプリットフロー-局所電流制御型マイクロチップ電磁泳動によるマイクロ微粒子分離 (名工大理工) ○飯國良規・田中彩加・大谷 肇
- P2009 (13:30 ~ 15:00) 単一・可算個タンパク質分子の検出に向けた拡張ナノ免疫分析デバイスの開発 (東大院工) ○太田諒一・白井健太郎・馬渡和真・清水久史・北森武彦
- P2010 (13:30 ~ 15:00) オンライン酸化還元化学種変換クロマトグラフィーによるヒドロキノン試薬中の微量 p -ベンゾキノンの定量 (日大院生産工¹・日大生産工²・埼玉大院理工³) ○辻本 洋¹・齊藤和憲²・渋川雅美³・中釜達朗²
- P2011 (13:30 ~ 15:00) 新しい表面構造を有するイオン交換樹脂による単糖類のHPLC (第15報) (女子栄養大¹・城西大薬²) ○三友俊一¹・根岸由紀子¹・伊藤久昭²
- P2012 (13:30 ~ 15:00) 新規HPLC-遠紫外分光法による糖およびペプチドの高感度分析 (日立ハイテクサイエンス¹・日立中研²) ○森崎敦己¹・青田俊道¹・宝泉雄介¹・甲田公良¹・内保裕一²・後藤佑介²・釜堀政男²
- P2013 (13:30 ~ 15:00) サイズ排除クロマトグラフィーを用いた低分子量ヘパリンの分子量測定における分析スケールの縮小化の検討 (日本分光) ○飯島里枝・渡部倫也・竹野達哉・佐藤泰世・坊之下雅夫
- P2014 (13:30 ~ 15:00) 銅添加移動相を用いた有機酸の逆相液体クロマトグラフィーによる分析 (富山衛研¹・東海大理²・中部大応生³・金沢大薬⁴) ○健名智子¹・小玉修嗣²・山本 敦³・井上嘉則³・早川和一⁴
- P2015 (13:30 ~ 15:00) 自動プレカラム誘導体化 - HPLC法によるアミノ酸の光学分割 (アジレント・テクノロジー) ○熊谷浩樹・内藤厚子・見勢牧男
- P2016 (13:30 ~ 15:00) 超純水装置の採水口フィルターの使用が水質に与える影響 (エルガ・ラボウォーター) ○黒木祥文・池田 治
- P2017 (13:30 ~ 15:00) サリチルヒドラゾン型蛍光イオンセンサーのアニオン効果 (阪教大) ○久保聖公二・武田吉平・谷 敬太・横井邦彦
- P2018 (13:30 ~ 15:00) 蛍光基含有ボロン酸ポリマーを用いたセンシング (北見工大) 竹島 完・○兼清泰正
- P2019 (13:30 ~ 15:00) バイオディーゼル認証標準物質開発のための元素分析法の検討 (産総研計量標準) ○朱 彦北・北牧祐子・成川知弘・沼田雅彦・黒岩貴芳・日置昭治・藤本俊幸・千葉光一
- P2020 (13:30 ~ 15:00) ドデカンチオールを用いた金ナノ粒子生成過程における金 (I) の存在 (京大原子炉¹・マンチェスター大²) ○上原章寛¹・S.G. Booth²・S.Y. Chang²・S.L.M. Schroeder²・R.A.W. Dryfe²
- P2021 (13:30 ~ 15:00) 酸化還元試薬共存下でのカーボンナノドットの発光挙動 (金沢大院自然¹・金沢大物質化学²) ○森田耕太郎¹・山田尚希²・永谷広久¹・井村久則¹
- P2022 (13:30 ~ 15:00) 凍結濃縮された溶存イオンの状態解析 (東工大理工) ○原田 誠・徳増宏基・岡田哲男
- P2023 (13:30 ~ 15:00) 全反射型ギャップモードラマン分光法 (埼玉大院理工) ○赤井啓太郎・飯田千晶・千葉駿人・二又政之
- P2024 (13:30 ~ 15:00) 表面増強赤外分光法を用いた金電極表面のカチオン及び水分子の挙動 (埼玉大院理工) ○渡邊美枝・阿部理佐・中里真実・二又政之
- P2025 (13:30 ~ 15:00) メチルセルロースヒドロゲル中の状態分析- 一塩及びポリエチレングリコール添加の影響- (神奈川大理) ○江口浩晃・西本右子
- P2026 (13:30 ~ 15:00) 汗中L-Dopa測定法の開発と臨床応用 (東大院薬¹・名大医²・ピコデバイス³) ○角田 誠¹・平山正昭²・津田孝雄³・大野欽司²
- P2027 (13:30 ~ 15:00) 質量分析法による顔料の識別 (第2報) (神奈川県警科捜研) ○阪柳正隆・田代 徹・西部浩一朗・和田正人・千葉光伸
- P2028 (13:30 ~ 15:00) 無蛍光性のポルフィリン誘導体であるCu(II)-TPPSとの相互作用を利用するヒト血清アルブミンの微量蛍光定量 (岡山理大理) 池田智美・佐川大樹・猪口雅彦・○尾堂順一
- P2029 (13:30 ~ 15:00) DBD-EDを用いてNANAとその酸化体ADOAを蛍光誘導体化しHPLC分析する際に生じた問題点 (帝京大薬¹・BML²) ○中込和哉¹・大石早紀¹・並木みなみ¹・村上拓磨¹・太田達宏^{1,2}・飯島亮介¹・油井 聡¹・安田 誠¹・福内友子¹・山岡法子¹・馬渡健一¹・金子希代子¹
- P2030 (13:30 ~ 15:00) マイクロ溶解/ICP-AESによる貴金属の分析 (科警研) ○鈴木康弘・笠正昭
- P2031 (13:30 ~ 15:00) 高温高圧負荷で劣化したλDNA試料に対するPCR法と電気泳動法での検出率の違い (日大薬) ○張替直輝・高田雄基・四宮一総
- P2032 (13:30 ~ 15:00) 埋もれた界面の時々刻々の変化を追跡する-X線反射率計の開発 (物材機構) ○櫻井健次
- P2033 (13:30 ~ 15:00) 安定同位体比解析による野生動物の個体ベースの長期的な食性履歴推定法-捕獲ツキノワグマの加害履歴を調べる- (森林総研¹・食総研²・長野県環保研³・東大院新領域⁴・信州クマ研⁵) ○中下留美子¹・鈴木彌生子²・岸元良輔³・葛谷 匠⁴・林 秀剛⁵
- P2034B (13:30 ~ 15:00) 金ナノ粒子の二次元配列体の光センサー応用のための表面プラズモン励起による高秩序配列化支援に関する検討 (首都大院理工) ○芝本幸平・安室駿輔・堀内剣太郎・寺岡拓麻・藤田隆史
- P2035B (13:30 ~ 15:00) テフロン[®]AF1600被覆金蒸着SPR光ファイバーセンサーによる醸造酒中のエタノール濃度の選択的測定 (鹿児島大院理工) ○満塩 勝・向野孝幸・肥後盛秀
- P2036B (13:30 ~ 15:00) 2次元ナノピーズアレー構造体を用いる透過型表面プラズモン共鳴センサーの開発 (首都大院都市環境¹・メビウスAT²) 伊永章史¹・中嶋 秀¹・白井 崇¹・○森岡和大¹・辺見彰秀²・曾 湖烈¹・加藤俊吾¹・内山一美¹
- P2037B (13:30 ~ 15:00) 木粉を基材とするポリアリルアミン型貴金属元素吸着剤の調整とめっき排液中の金回収への応用 (高知県工技セ¹・高知県紙技セ²・元高知県工技セ³) ○隅田隆¹・矢野雄也¹・岡崎由佳¹・山下 実²・川北浩久¹・福富元³

- P2038B (13:30～15:00) ペンタエチレンヘキサミン固定化繊維状吸着剤を用いる金(III)の固相抽出分離(富山大院理工(工))○岡山佳聖・堂迫英剛・伊藤雅法・加藤敏文・源明誠・加賀谷重浩
- P2039B (13:30～15:00) L-アスコルビン酸添加条件におけるpH刺激応答性ポリマーを用いる金(III), 銀(I), 白金(II)の選択的捕集特性と分離・回収法(茨城大工¹・物材機構²)○斎藤昇太郎¹・五十嵐淑郎¹・山口仁志²
- P2040B (13:30～15:00) 銀シェル金ナノロッド固定ITO基板の顕微分光特性とSEM観察(鹿児島大院理工¹・九大院工²・I2CNER,JST³)○新留康郎¹・鶴由起子²・濱崎祐樹²・中嶋直敏^{2,3}
- P2041B (13:30～15:00) 金ナノ粒子-グルコースオキシダーゼのワンステップ複合体形成とその電極系における電子伝達機構(阪府大院工¹・グリーンケム²)○椎木 弘¹・山本陽二郎^{1,2}・長岡 勉¹

【 Y 会 場 】

第1日(5月23日)

- Y1001 (10:00～11:30) プラズマガス消費量低減を目的とした外部冷却型ICPトーチ(東工大院総理工創造エネ)○鎗柄直人・井上裕貴・宇都宮嘉孝・宮原秀一・沖野見俊
- Y1002 (10:00～11:30) プラズマ分光分析用2液同時噴霧型グリッドネブライザーの開発(東葉大¹・産総研²)○松下莉那¹・藤井紳一郎²・宮下振一²・稲垣和三²・梅村知也¹
- Y1003 (10:00～11:30) ICP-MSによる長寿命核種¹⁰⁷Pdの定量を目的としたレーザー微粒子化元素分離を用いるPd同位体の分析手法開発(原子力機構)○蓬田 匠・浅井志保・佐伯盛久・半澤有希子・江坂文孝・大場弘則・間柄正明
- Y1004 (10:00～11:30) 水試料の全反射蛍光X線分析に関する国際ラウンドロビンテスト(阪市大院工)○田淵由莉・辻 幸一
- Y1005 (10:00～11:30) 鋼板塗膜下腐食試料の共焦点型三次元蛍光X線元素イメージング(阪市大院工¹・新日鉄住金技術開発本部²)○陳 自義¹・八木良太¹・秋岡幸司²・荒井正浩²・土井教史²・辻 幸一¹
- Y1006 (10:00～11:30) 放射光X線分析を用いた北海道地方南部の法科学土砂データベースの開発(東京理科大理¹・JASRI/SPring-8²・産総研³)○代田祐介¹・今 直誓¹・廣川純子¹・平尾将崇¹・阿部善也¹・大坂恵一²・松本拓也²・伊藤真義²・太田充恒³・中井 泉¹
- Y1007 (10:00～11:30) 微細自動車アルミホイール片の放射光蛍光X線分析及び多変量解析を利用した非破壊異同識別(高知大院教育)○竹川知宏・石井健太郎・西脇芳典・蒲生啓司
- Y1008 (10:00～11:30) 粉末ペレット型二次ターゲットを用いた蛍光X線法による岩石試料の分析(明大院理工¹・明大研究・知財戦略機構²・明大理工³)○小日置達哉¹・市川慎太郎²・中村利廣³
- Y1009 (10:00～11:30) ディスク固相抽出/ハンドヘルド蛍光X線分析法を用いた水中のヒ素の現場定量(明大院理工¹・明大理工²)○萩原健太¹・小池裕也²・相澤 守²・中村利廣²
- Y1010 (10:00～11:30) ガラスビード/蛍光X線法による伊豆諸島出土土器の化学組成分析(明大研究・知財戦略機構¹・東海大文²・明大理工³)○市川慎太郎¹・松本建速²・中村利廣³
- Y1011 (10:00～11:30) 江戸初期奈良絵本断片から採取した赤色顔料のX線分析(龍谷大理工)○藤原 学・高橋瑞紀
- Y1012 (10:00～11:30) 金ナノ粒子埋め込みカーボン薄膜電極を用いた、水中ヒ素の電気化学検出(筑波大院¹・産総研²・千葉工大³)○加藤大喜^{1,2}・鎌田智之^{2,3}・加藤 大²・柳澤博幸^{1,2}・丹羽 修^{1,2}
- Y1013 (10:00～11:30) ナノアロイ埋め込み型カーボン薄膜電極による臨床糖マーカーの高感度安定検出(筑波大院¹・産総研²・千葉工大³)○Shunsuke Shiba^{1,2}・加藤 大²・鎌田智之^{2,3}・丹羽 修^{1,2}
- Y1014 (10:00～11:30) 走査型誘電泳動による多孔質膜への自由度の高い粒子パターンの作製(兵庫県大院物質理)○後藤卓真・安川智之・水谷文雄
- Y1015 (10:00～11:30) 誘電泳動による超高速細胞アレイの作製と免疫反応結合能力計測への応用(兵庫県大院物質理)○川島綾香・安川智之・水谷文雄
- Y1016 (10:00～11:30) 櫛歯型電極による光回折を用いる光学検出法(東工大院理工)○古川琴浩・福山真央・火原彰秀
- Y1017 (10:00～11:30) マイクロ構造を用いる結晶析出の多点観察(東工大院理工)○秋山 葵・福山真央・火原彰秀
- Y1018 (10:00～11:30) クラスレート/ハイドレートを固定相とするガスクロマトグラフィー(産総研環境管理¹・産総研メタハイ²)○半田友衣子¹・山本佳孝²
- Y1019 (10:00～11:30) シアフローアイスクロマトグラフィー(東工大院理工)○清水雅也・原田 誠・岡田哲男
- Y1020 (10:00～11:30) ポリマー化イオン液体固定相を用いる含窒素化合物のイオン排除HPLC(山梨大院医工)○内藤幸治・小泉 均・橋 正樹・谷 和江
- Y1021 (10:00～11:30) ヒドロキシピロリン誘導体高分子を用いた温度応答性クロマトグラフィーの開発(慶大薬)○安達亮・蛭田勇樹・金澤秀子
- Y1022 (10:00～11:30) 内標標準法を導入した振幅変調多重化フロー分析法(徳島大薬¹・徳島大院医歯薬²・徳島大院薬³)○尾崎真理¹・大楠剛司³・竹内政樹²・田中秀治²
- Y1023 (10:00～11:30) チタニア充填剤の改質と保持挙動の検討(山梨大医工)○石井 歩・谷 和江・橋 正樹・小泉 均
- Y1024 (10:00～11:30) オクタデシル基修飾シリカ粒子を用いた空気中半揮発性有機化合物の分配捕集(山梨大院工¹・信和化工²・堀場エステック³・産総研⁴)○鬼形 萌¹・植田郁生¹・望月 賢¹・藤村耕治²・佐々木智啓³・青木潤次³・前田恒昭⁴
- Y1025 (10:00～11:30) 針型濃縮デバイスを用いるページ・トラップ法による水中の高揮発性有機化合物の分析(山梨大院工¹・豊橋技科大院工²)○三森智希¹・植田郁生¹・川久保進¹・齊戸美弘²
- Y1026 (10:00～11:30) ニトロ基還元で得た芳香族ジアミン含有反応溶液による蛍光誘導(岡山理大理¹・神戸大院人間発達環境²)○栗崎愛子¹・永井めぐみ¹・山崎重雄¹・齊藤惠逸²
- Y1027 (10:00～11:30) コンポジット型固定相によるキラル分離(東工大院理工)○飯村友輔・岡田哲男
- Y1028 (10:00～11:30) フルオラス誘導体化法を利用したオキシトシンの高選択的LC-MS³分析(福岡大薬)○玉嶋江莉奈・巴山 忠・川見祐介・糸山美紀・吉田秀幸・能田 均・山口政俊

- Y1029 (10:00 ~ 11:30) 小型溶離液発生装置を用いる低圧イオンクロマトグラフィー (徳島大薬¹・徳島大院医歯薬²) ○渡部裕貴¹・杉浦 潤¹・田中秀治²・竹内政樹²
- Y1030 (10:00 ~ 11:30) 選択的固相抽出-光分解蛍光HPLCによるネオニコチノイド系殺虫剤の分析 (中部大応生) ○八木啓介・高井里奈・三輪俊夫・上茶谷若・井上嘉則・山本 敦
- Y1031 (10:00 ~ 11:30) ミニトマト栽培におけるクラゲ上澄み液の効果 (神戸大院海事科学¹・神戸大海事科学²) ○堀 昇平¹・安村玄太²・福士恵一¹
- Y1032 (10:00 ~ 11:30) 色素分子共存下での油水界面におけるリチウムイオンの特異的な移動現象 (神戸大院理¹・金沢大院自然²) ○森口弥香¹・永谷広久²・大堺利行¹
- Y1033 (10:00 ~ 11:30) 一時的等速電気泳動—キャピラリーゾーン電気泳動法による海水中フェノールの定量 (神戸大院海事科学) ○安野恒喜・福士恵一・服部考成
- Y1034 (10:00 ~ 11:30) ポリマー化イオン液体を用いるキャピラリー電気泳動における芳香族カルボン酸の分離 (山梨大院医工) ○佐野公美・小泉 均・橋 正樹・谷 和江
- Y1035 (10:00 ~ 11:30) ポリマー化イオン液体を利用した浸透流の逆転によるキャピラリー電気泳動—色素化合物への応用— (山梨大院医工) ○古屋 圭・小泉 均・橋 正樹・谷 和江
- Y1036 (10:00 ~ 11:30) 泳動液中カウンターイオンを利用した高感度キャピラリー電気泳動法の開発 (2) (神戸大院海事科学) ○服部考成・福士恵一
- Y1037 (10:00 ~ 11:30) イオン交換基修飾キャピラリーを用いるキャピラリー電気泳動法の高速度とヒト唾液試料への応用 (群馬大院理工¹・群馬大院医²) ○友田駿宏¹・山田祥子¹・石川原楓光¹・森 勝伸¹・松本隆太郎²・角野博之²・村上正巳²・板橋英之¹
- Y1038 (10:00 ~ 11:30) キャピラリー電気泳動を用いるアスリートの唾液試料の分析とストレス診断への応用 (群馬大院理工¹・群馬大院医²) ○石川原楓光¹・友田駿宏¹・山田祥子¹・森 勝伸¹・松本隆太郎²・角野博之²・村上正巳²・板橋英之¹
- Y1039 (10:00 ~ 11:30) ジピコリルアミン型アゾプローブ/シクロデキストリン複合体のリン酸類認識における置換基効果 (上智大理工) ○皆川晶平・越野杏奈・上村拓也・橋本 剛・早下隆士
- Y1040 (10:00 ~ 11:30) ジピコリルアミノ基を認識部位に有する蛍光センサーの開発と機能評価 (上智大理工) ○澤田真希・鳥居靖子・小林広幸・橋本 剛・早下隆士
- Y1041 (10:00 ~ 11:30) ボロン酸型蛍光プローブ/シクロデキストリン超分子複合体を用いた糖分離材料の開発 (上智大理工) ○鈴木崇人・山田泰士・橋本 剛・早下隆士
- Y1042 (10:00 ~ 11:30) リン酸認識能を有するジピコリルアミン型蛍光プローブ修飾シクロデキストリンセンサーの設計と開発 (上智大理工) ○藤原章司・山田 樹・小林広幸・橋本 剛・早下隆士
- Y1043 (10:00 ~ 11:30) ジピコリルアミン/デンドリマー複合体による細菌センサーの開発 (上智大理工) ○笠井祐那・小林広幸・土戸優志・橋本 剛・早下隆士
- Y1044 (10:00 ~ 11:30) フェニルボロン酸修飾デンドリマープローブを利用した細菌認識 (上智大理工) ○堀内良介・土戸優志・小林広幸・橋本 剛・早下隆士
- Y1045 (10:00 ~ 11:30) インドネシア西ジャワ州チカニキ川周辺土壤中の水銀濃度分布に及ぼす金精錬活動の影響 (鹿児島大院理工¹・鹿児島大廃液処理セ²・RCB-LIPT³) ○Christine Baransano¹・河野百合子²・児玉谷仁¹・神崎 亮¹・Joeni S. Rahajoe³・Nuril Hidayati³・富安卓滋^{1,2}
- Y1046 (10:00 ~ 11:30) 旧水銀鉱山周辺における水銀分布とその化学形態 (鹿児島大院理工¹・鹿児島大²) ○重富あずさ¹・児玉谷仁¹・外蘭寿宗¹・勝間創太²・山崎仁美²・神崎 亮¹・富安卓滋¹
- Y1047 (10:00 ~ 11:30) 環境水中の水銀の微量拡散分離-接触定量 (山梨大院医工¹・山梨県衛生環境研²) ○小松悠介¹・塩畑りま¹・佐々木裕也^{1,2}・川久保進¹
- Y1048 (10:00 ~ 11:30) 鉄粉存在下におけるエチレンジアミン四酢酸による土壌からのカドミウム抽出速度と化学形態 (筑波大院数理工¹・CORDA²) ○奥村紗未¹・志村侑紀¹・酒井勝²・中谷清治¹
- Y1049 (10:00 ~ 11:30) 汚染土壌中におけるPb及びAsのキレート抽出と逐次抽出法による化学形態解析 (金沢大院自然¹・金沢大理工²・西松建設技研³) ○地井直行¹・池邊祐哉²・塚越義則¹・若林友弥¹・澤井 光¹・牧 輝弥²・石渡寛之³・長谷川 浩²
- Y1050 (10:00 ~ 11:30) 鉄粉を用いる水田土壌中におけるカドミウム不溶化の鉄粉依存性 (筑波大院数理工¹・DOWAエコシステム²・CORDA³) ○栗田純志¹・鎌田雅美²・酒井 勝³・中谷清治¹
- Y1051 (10:00 ~ 11:30) 東北地方沿岸部底質および底生生物中の金属濃度の定量 (東邦大理) ○上原みのり・中島梨紗・雨宮柚衣・大越健嗣・西垣敦子
- Y1052 (10:00 ~ 11:30) ホタテウロ残滓堆肥の施肥によるアルファルファへの有害重金属の取り込み挙動 (北大院工¹・大創KET²・標津町³) ○牛島健介¹・福嶋正巳¹・菅野新也²・菅野イト子²・大西光博³
- Y1053 (10:00 ~ 11:30) 岩石に対するセシウムイオンの吸着脱離特性に及ぼす金属イオンの影響 (山形大院理工¹・山形大工²) ○三浦拓也¹・瀧澤典史¹・佐々木貴史²・遠藤昌敏¹
- Y1054 (10:00 ~ 11:30) 天然ゼオライトによるセシウムイオンの吸着および固定化 (山形大院理工¹・山形大工²) ○富樫光貴¹・瀧澤典史¹・佐々木貴史²・遠藤昌敏¹
- Y1055 (10:00 ~ 11:30) 放射光X線分析による福島第一原発事故由来の強放射性粒子の化学的性状の解明 (東理大理¹・JASRI/SPring-8²・筑波大³・阪大⁴・気象研⁵) ○飯澤勇信¹・小野貴大¹・阿部善也¹・中井 泉¹・寺田靖子²・佐藤志彦³・二宮和彦⁴・足立光司⁵・五十嵐康人⁵
- Y1056 (10:00 ~ 11:30) 鹿児島湾における魚体中水銀濃度 (鹿児島大院理工¹・鹿児島大総合研究博物館²) ○築瀬 梓¹・児玉谷 仁¹・神崎 亮¹・本村浩之²・富安卓滋¹
- Y1057 (10:00 ~ 11:30) Magnetic separation of Cu²⁺ from aqueous solution by dithiocarbamate modified magnetic chitosan (Grad. Sch. Env. Sci. Hokkaido Univ) ○Satya Candra Wibawa Sakti・Yasuyuki Narita・Shunitz Tanaka
- Y1058 (10:00 ~ 11:30) LC-MSを用いた生分解性キレート剤の金属イオンの分離分析 (金沢大院自然¹・金沢大理工²・University of Chittagong³) ○竹村匡史¹・澤井 光¹・工藤寿馬¹・Ismail Md. Mofizur Rahman^{1,3}・牧 輝弥²・長谷川 浩²

Y1059 (10:00～11:30) 微量元素による日本酒の産地特性化の試み(東理大理)○笹本なみ・阿部善也・中井 泉

Y1060 (10:00～11:30) 分子認識部位にフッ素原子を導入したアントラセン型蛍光プローブの糖認識機能評価(上智大理工)○杉田 巧・土戸優志・橋本 剛・早下隆士

第2日(5月24日)

Y2001 (10:00～11:30) ブラジキニンと金属イオンとの反応性の検討(阪薬大)○柏木翔和・木村真衣・森本茂文・浅野麻実子・山口敬子・松村人志・藤田芳一

Y2002 (10:00～11:30) *o*-カルボキシフェニルフルオロンと鉄(III)によるヒ酸イオン測定法の開発について(阪薬大)○富田秀明・田邊結衣・星野 満・浅野麻実子・山口敬子・松村人志・藤田芳一

Y2003 (10:00～11:30) キサンテン系色素を用いるLa(III)定量法の確立(阪薬大)○中村浩貴・加藤朱音・星野 満・浅野麻実子・山口敬子・松村人志・藤田芳一

Y2004 (10:00～11:30) 帽子状貴金属ナノ粒子による表面増強効果(3):表面増強ラマン法によるin-situ分子同定機能を有する薄層クロマトプレートの作製と評価(東洋大生命科学¹・東洋大院生命科学²)○加藤圭子¹・齋藤淳一郎²・竹井弘之¹

Y2005 (10:00～11:30) 帽子状貴金属ナノ粒子による表面増強効果(5):近赤外型局在表面プラズモン共鳴センサーの生命科学への応用(東洋大院生命科学¹・東洋大生命科学²・理研石橋極微デバイス工学研究室³)○宮下拓巳¹・沖田朋也²・池田明日香²・岡本隆之³・竹井弘之²

Y2006 (10:00～11:30) 帽子状貴金属ナノ粒子による表面増強効果(4):帽子状卑金属ナノ粒子から作製するナノ銀樹に対する添加物の影響とそのSERS増強率(東洋大院生命科学¹・東洋大生命科学²)○米田真吾¹・竹井弘之²

Y2007 (10:00～11:30) 近赤外及びラマン分光法によるアルプミンの熱変性における二次構造変化の研究(関学大理工)○森本佳奈・石垣美歌・尾崎幸洋

Y2008 (10:00～11:30) 陽イオン交換能を保持したスラブ光導波路の作製とその評価(群馬大院理工)○比奈地真之・亀岡万希子・佐藤記一・角田欣一

Y2009 (10:00～11:30) 遠紫外分光法による糖分子と溶媒分子の相互作用に関する研究(関学大院理工)○田中裕人・後藤剛喜・尾崎幸洋

Y2010 (10:00～11:30) 帽子状貴金属ナノ粒子による表面増強効果(2):消光を抑制したSPFS基板での生体分子の測定(東洋大院生命科学¹・東洋大生命科学²)○海老沢美紀¹・川上拓¹・竹井弘之²

Y2011 (10:00～11:30) ラマン分光法による食品アミノ酸の定量分析法の開発(日大工)○月岡聖也・進藤嵩史・沼田 靖・田中裕之

Y2012 (10:00～11:30) ダブルビームレーザーラマン分光法による定量法の開発(日大工)○進藤嵩史・月岡聖也・沼田 靖・田中裕之

Y2013 (10:00～11:30) 減衰全反射遠紫外分光法による混合溶液中の水分子の第一電子遷移の研究(関学大院理工)○岸部航大・後藤剛喜・田中裕人・尾崎幸洋

Y2014 (10:00～11:30) 紫外、遠紫外分光法によるハロゲン化ナトリウム水溶液中のハロゲン化物イオンCTTSバンドに現れる変化からみた、過冷却水溶液中の電解質の水和状態に関する研究(近大院総合理工¹・農研機構食総研²・近大理工³)○西川由華¹・池羽田晶文²・森澤勇介³

Y2015 (10:00～11:30) OH、NH伸縮振動基本音、倍音の水素結合の有無による吸収強度の変化の研究(近大院総理¹・近大理工²)○立美美沙紀¹・矢野直人²・森澤勇介¹

Y2016 (10:00～11:30) 画像処理技術の支援によるスキャナーを用いた比色分析法の開発(茨城大工¹・富山高専²)○越智清志¹・佐藤 祐¹・間中 淳²・五十嵐淑郎¹

Y2017 (10:00～11:30) システインを修飾した延長ゲート有機トランジスタによる重金属イオン検出(山形大院理工)○南 豪・南木 創・福田憲二郎・熊木大介・時任静士

Y2018 (10:00～11:30) 熱処理による形状再構成を施した金ナノ粒子による局在表面プラズモン共鳴センシング(秋田大院工学資源)○北條晴佳・藤原一彦・小川信明

Y2019 (10:00～11:30) 鋳型膜による細菌の特異的認識のシミュレーション法開発(阪府大院理¹・阪府大院工²・阪府大ナノ科学・材料セ³)○田村 守^{1,2,3}・中田啓之^{2,3}・床波志保³・飯田琢也¹

Y2020 (10:00～11:30) CCD型ATPイメージセンサーの開発(豊橋技科大電気電子情報工¹・豊橋技科大研究基盤セ²)○遠藤信之介¹・加藤 亮²・澤田和明¹・服部敏明¹

Y2021 (10:00～11:30) ガスボンベフリー表面付着物プラズマ質量分析装置の化学剤検知性能評価(東工大院総理工¹・科警研²)○掛川 賢¹・相田真里¹・岩井貴弘^{1,2}・長島央行²・名児耶友樹²・金森美江子²・宮原秀一¹・瀬戸康雄²・沖野晃俊¹

Y2022 (10:00～11:30) 脱水反応を利用するエレクトロスプレーイオン化質量分析法によるヒ酸、亜ヒ酸の定量(群馬大院理工)○岩丸昂輝・小島弘誓・佐藤記一・角田欣一

Y2023 (10:00～11:30) バリア放電を用いた揮発性化学剤分解装置の開発と分解機構の解明(東工大院総理工¹・科警研²)○井上裕貴¹・宇都宮嘉孝¹・掛川 賢¹・岩井貴弘²・長島央行²・名児耶友樹²・宮原秀一¹・瀬戸康雄²・沖野晃俊¹

Y2024 (10:00～11:30) ヘキサメチルジシロキサン化学イオン化を用いた質量分析の検討とその応用(阪大院工¹・阪大環境安全研究管理セ²)○田川淳啓¹・山本 尚¹・角井伸次^{1,2}・芝田育也^{1,2}

Y2025 (10:00～11:30) ポリエチレンイミン追加導入型樹脂:元素捕捉におよぼすカルボキシメチル化の効果(富山大院理工(工)¹・中部大応生²)○加藤雄大¹・城田理子¹・梶原健寛¹・井上嘉則²・上茶谷 若²・源明 誠¹・加賀谷重浩¹

Y2026 (10:00～11:30) 長鎖アミノカルボン酸型樹脂による微量元素の高速固相抽出分離(富山大院理工(工)¹・中部大応生²)○城田理子¹・梶原健寛¹・井上嘉則²・上茶谷 若²・源明 誠¹・加賀谷重浩¹

Y2027 (10:00～11:30) イオン交換樹脂およびキレート樹脂へのタンパク質の吸着挙動(富山大院理工(工))加賀谷重浩・○齋藤雅也・源明 誠

Y2028 (10:00～11:30) 蛍光X線分析用ヒ素含有白米標準物質の開発—値付けのための酸分解法の検討—(明大院理工¹・明大研究・知財戦略機構²・明大理工³)○巽 正樹¹・乾 哲朗²・中村利廣³

- Y2029 (10:00 ~ 11:30) エアロゾル中難揮発性薬物用吸着剤の最適化 (中部大応生) ○谷畑壮磨・日置清香・三輪俊夫・上茶谷 若・井上嘉則・山本 敦
- Y2030 (10:00 ~ 11:30) 全リン定量のための各種リン化合物の Co^{3+} による前処理 (徳島大薬¹・徳島大院医歯薬²) ○久保祐哉¹・竹内政樹²・田中秀治²
- Y2031 (10:00 ~ 11:30) 微小電極-共焦点顕微鏡法による微小水滴/油系キレート抽出速度解析法の開発 (筑波大院数理工質) ○澤田直輝・佐藤辰巳・中谷清治
- Y2032 (10:00 ~ 11:30) 蛍光性複合ミセルの合成とセンサへの応用 (高知大院理¹・高知大理²) ○中尾美智¹・林出明子²・波多野慎悟¹・渡辺 茂¹
- Y2033 (10:00 ~ 11:30) 超伝導磁石内における単一サブマイクロ粒子の電磁泳動挙動の蛍光顕微鏡観測 (阪大院理¹・名工大院工²) ○山下直大¹・諏訪雅頼¹・飯國良規²・田中彩加²・塚原聡¹
- Y2034 (10:00 ~ 11:30) シリカブロックコポリマーを用いた温度応答型ハイブリット蛍光ナノ粒子の開発 (慶大薬) ○小出さやか・王 堅・蛭田勇樹・金澤秀子
- Y2035 (10:00 ~ 11:30) 金属ナノ粒子-マイクロ粒子混合系における高速光集積現象と分析応用 (阪府大院理¹・阪府大院工²・阪府大ナノ科学・材料セ³) ○宮井 萌¹・山本靖之^{2,3}・西村勇姿^{1,2,3}・床波志保³・飯田琢也¹
- Y2036 (10:00 ~ 11:30) 液液光導波路による Al^{3+} -ルモガリオン錯体形成反応の観察と評価 (群馬大院理工) ○芳澤理志・長谷川湧起・村田博康・佐藤記一・角田欣一
- Y2037 (10:00 ~ 11:30) ゲルろ過クロマトグラフィーによるタンパク質結合金ナノ粒子のサイズ分離の検討 (秋大院工学資源) ○田村周士・藤原一彦・小川信明
- Y2038 (10:00 ~ 11:30) レーザー誘起表面変位顕微鏡を用いた正常細胞とがん細胞の粘弾性による識別 (東理大院総合化学) ○石原雅史・森作俊紀・由井宏治
- Y2039 (10:00 ~ 11:30) 拘束空間内の液体構造の観察: 表面力測定装置による計測理論 (京大院工) ○天野健一・西 直哉・作花哲夫
- Y2040 (10:00 ~ 11:30) ルシゲニンのミセル増感化学発光法によるフェノール類化合物の抗酸化能評価 (信州大院総合工) ○松岡聖典・金 継業
- Y2041 (10:00 ~ 11:30) 複合型サプリメントの抗酸化機能評価法の探索および成分複合効果 (慶大薬) ○浜崎真衣・平出園絵・永田佳子・金澤秀子
- Y2042 (10:00 ~ 11:30) DNAバルジ構造を利用した5-メチルシトシンの電気化学分析 (産総研¹・筑波大²・東洋大³) ○吉田岳史^{1,2}・佐々木直樹³・柳澤博幸^{1,2}・栗田僚二¹・丹羽 修^{1,2}
- Y2043 (10:00 ~ 11:30) DNA化金ナノ粒子表面におけるDNAハイブリダイゼーションの速度論的解析 (筑波大院数理) ○高島明里・大石 基
- Y2044 (10:00 ~ 11:30) 細胞接着タンパク質結合型核酸アプタマーの構造解析 (東大院総合文化¹・東大教養²) ○丸山 亮¹・真島壮平²・吉本敬太郎^{1,2}
- Y2045 (10:00 ~ 11:30) セルロース合成バクテリアの電極固定法の開発 (阪府大院工) ○田村拓磨・陶国智史・高井将博・西野智昭・椎木 弘・長岡 勉
- Y2046 (10:00 ~ 11:30) 静電相互作用を用いたベシクルの二分子膜への融合促進 (NTT物性基礎研) ○大嶋 梓・田中あや・櫻村吉晃・住友弘二
- Y2047 (10:00 ~ 11:30) 自律駆動マイクロ流体チップを用いたヒト由来total RNA中のmicroRNA検出 (理研¹・東農工大院²) ○根岸里奈^{1,2}・長谷川和貴¹・細川和生¹・養王田正文²・前田瑞夫¹
- Y2048 (10:00 ~ 11:30) オポアルブミンセンシングのためのオリゴチロシンラベル化プローブの構築 (前橋工科大院工¹・富山大院理工(理)²・前橋工科大³) ○篠原弘毅¹・倉光英樹²・菅原一晴³
- Y2049 (10:00 ~ 11:30) LSI電極アレイを用いた細胞活性のポテンシオメトリックイメージング (東北大院環境¹・日本航空電子工業²・東北大 μSIC ³・東北大WPI-AIMR⁴) ○菅野佑介¹・伊野浩介¹・坂本ちか¹・井上 (安田) 久美¹・須田篤史²・國方亮太²・松平昌昭³・珠玖 仁¹・末永智一^{1,3,4}
- Y2050 (10:00 ~ 11:30) $L^*a^*b^*$ 表色系を用いるチタニアの熱触媒作用観察装置の作製 (山梨大院医工) ○荒川直輝・谷 和江・橘 正樹・小泉 均
- Y2051 (10:00 ~ 11:30) チタニアの熱触媒作用による着色状態の観測における色調の数値化 (山梨大院医工) ○田澤智也・谷和江・橘 正樹・小泉 均
- Y2052 (10:00 ~ 11:30) 増幅剤を使用した含硫黄無機還元剤の化学発光スペクトルの研究 (阪工大工) ○坂田優太・藤森啓一・森内隆代・渋谷康彦

第75回分析化学討論会会場別一覧表

会場	5月23日(土)			5月24日(日)		
	午前	昼	午後	午前	昼	午後
A	討論主題1 食品分析法の社会への新展開 9:15～ ～11:45		討論主題1 食品分析法の社会への新展開/08. センサー 13:10～ ～15:45	04. X線分析, 電子分光分析 9:15～ ～11:25		04. X線分析, 電子分光分析 13:10～ ～13:55
B	討論主題2 材料開発を支える分析化学 9:15～ ～11:45		討論主題2 材料開発を支える分析化学 13:10～ ～16:30	01. 原子スペクトル分析(ICP-MSを含む) 9:00～ ～11:50		01. 原子スペクトル分析(ICP-MSを含む) 13:10～ ～14:10
C	討論主題3 環境計測技術の新展開 9:15～ ～11:45		討論主題3 環境計測技術の新展開/11. 質量分析/18. データ処理理論 13:10～ ～16:30	23. 地球環境関連分析 9:00～ ～11:40		22. 宇宙・地球に関する分析化学 13:10～ ～14:10
D	27. バイオ分析 9:30～ ～11:40		27. バイオ分析/26. 生体関連物質分析 13:10～ ～16:30	16. 分離・分析試薬の設計/14. 電気泳動分析 9:00～ ～11:35		02. 分子スペクトル分析 13:10～ ～15:05
E	21:界面・微粒子分析 9:30～ ～11:40		21:界面・微粒子分析 13:10～ ～16:00	12:マイクロ分析系/07. 電気化学分析 9:00～ ～11:50		07. 電気化学分析/27. バイオ分析 13:10～ ～15:05
F	15. 溶媒抽出法(論文賞)/03. レーザー分光 9:15～ ～11:40		03. レーザー分光/13. 分離・検出・前処理 13:10～ ～16:50	13. 分離・検出・前処理 9:00～ ～11:30		13. 分離・検出・前処理 13:10～ ～15:00
G			公開シンポジウム 13:10～ ～16:35			
Y/P	若手講演(ポスター) 掲示時間9:30～12:00 10:00～ ～11:30		一般講演・テクニレビュー講演(ポスター) 掲示時間13:00～15:30 13:30～ ～15:00	若手講演(ポスター) 掲示時間9:30～12:00 10:00～ ～11:30		一般講演・テクニレビュー講演(ポスター) 掲示時間13:00～15:30 13:30～ ～15:00
ランチョン	12:00～ ランチョン ～12:50 (A, B, C, F会場)			12:00～ ランチョン ～12:50 (A, B会場)		

各会場の下段の時間は開始時間及び終了時間です。昼休みは会場によって異なりますのでご注意ください。PC設定時間は10分です。
ポスター発表(若手講演ポスターを含む)は大学会館が会場となります。G会場は「公開シンポジウム」です。参加費は無料です。
展示会は総合研究棟(Y号館)1階で開催いたします。